

(仮称)吹田市藤白台5丁目計画 - 外観デザイン方針 - 2021.06



課題の整理

①長大壁面の分節

②千里緑地との調和を意識したデザインコード

③単調さを出さない遠景、近景で変化を付けたデザイン (歩いて楽しいまちづくり)



1. まちと共に育ちゆく木立 (長大壁面の分節)

千里緑地の一環をなす場に位置し、千里北公園や緑の美しい通りが彩るエリア。隣接エリアには万博記念公園や大阪大学吹田キャンパスもあり、
時を越えてクオリティの高い住環境が形成されゆくエリアでもあります。

そんな緑豊かなきらめく木漏れ日のもと、憩い、遊び、健康づくり、交流、学び等の多様な活動を生み出すことを目標とした「まちづくり」となる本計画。

まちの発展と共にあり続け、育ちゆく木立のイメージをデザイン指針として、**建築外観に施し**、より美しく洗練された植栽計画で包み込み、豊かな暮らしのステージとなる住環境づくりを目指します。



大きな木立のもとで、働く、学ぶ、交流する、遊ぶ、創る、憩う、地域活動を行うなど多様な都市機能を導入することにより、「歩いて暮らせるまち」として充実するイメージ。

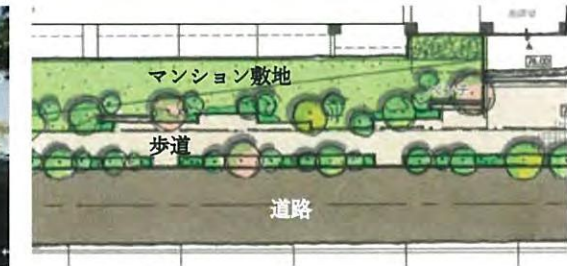
2. 千里緑地との調和を意識したデザインコード

千里緑地 (自然) を連想させる木、緑、水、
千里ニュータウンに身近な存在の自然のイメージを外観に取り入れます。

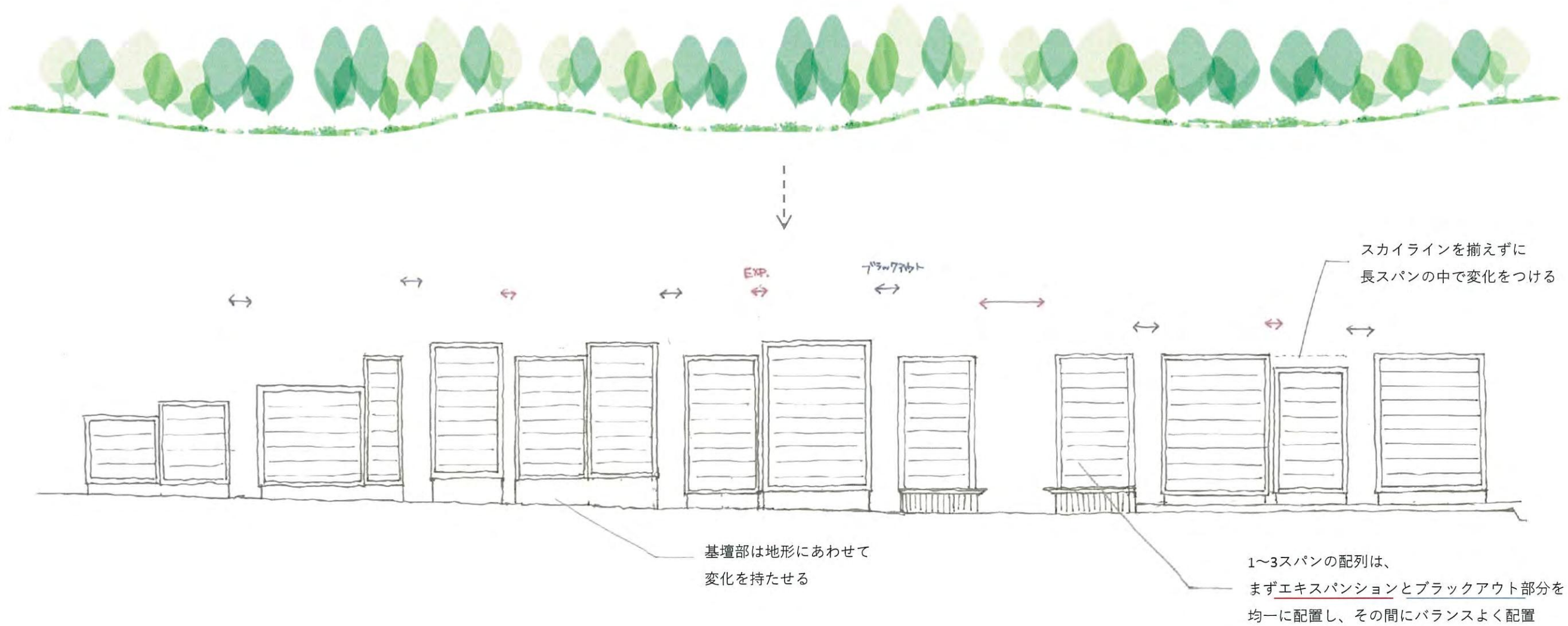


3. 単調にならない、遠景⇄近景で変化を付けたデザイン (歩いて楽しいまちづくり)

- ・軒裏は落ち着いた色調とし、建物に近づくにつれ、建物の見上げが植栽の背景になることを意識した配色計画とします。
- ・基壇部は地形に合わせて変化をつけ、歩道と緑地を一体的にランドスケープデザインを計画し、歩いて楽しいまちを目指します。



1. まちと共に育ちゆく木立 → 基本のフレームイメージ



(仮称) 吹田市藤白台5丁目計画 - 外観デザイン方針 検討経過 -



3. 単調にならない、遠景⇄近景で変化を付けたデザイン (歩いて楽しいまちづくり)

軒裏の色の明度を落とし、木目調塗装も取り入れることで近景では落ち着いた印象とする



ハーフミラーのガラス手摺でスラブを隠し、
景観を取り込むスクリーン

基壇部外壁は吹田市基準値限界のN5.0まで明度を落とし、
植栽の色が美しく見える色彩計画とします



景観を取り込むガラス手摺イメージ

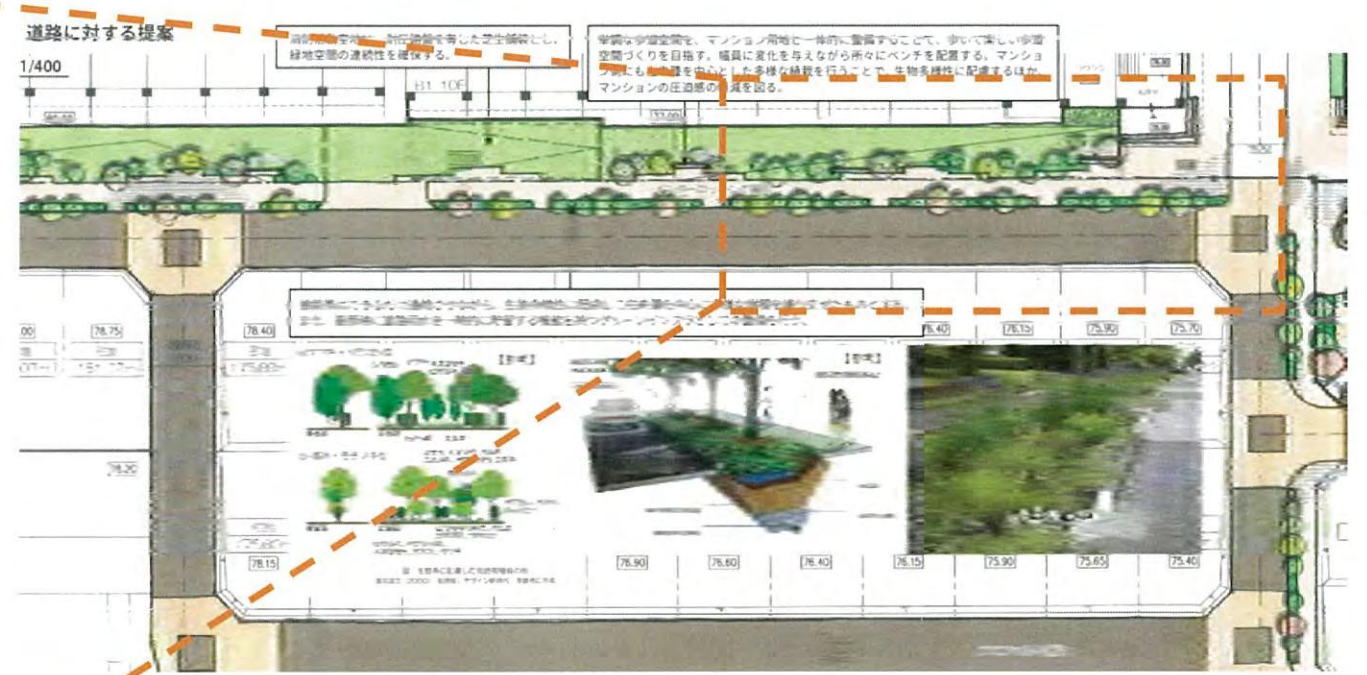


バルコニー軒裏塗装イメージ

3. 単調さを出さない遠景、近景で変化を付けたデザイン (歩いて楽しいまちづくり)



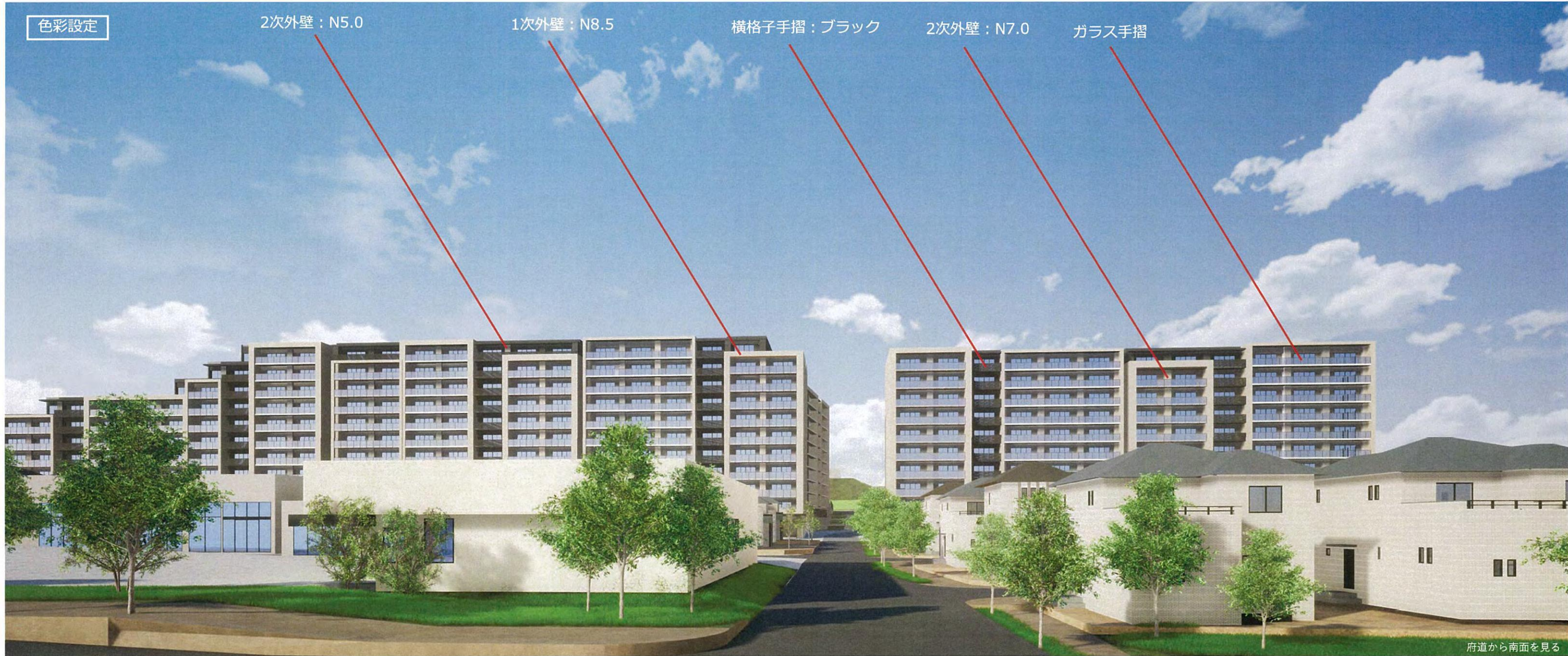
吹田市歩道 ← → マンション空地



歩道とマンション空地の一体的な計画



南立面イメージ



※木・石・ガラス・金物・立面に現れない部分は色彩の景観誘導基準対象から除かれます



①



②



③

